第１回　千歳市緑化審議会　会議概要

■日時

令和６年５月 27 日（月）14 時 00 分～15 時 00 分

■場所

千歳市役所議会棟２階大会議室

■出席者

委員出席者：愛甲委員（会長）、竹田委員（副会長）、外崎委員、丹波委員、
小田委員、南家委員、津田委員、井溪委員、立田委員、古幡委員、
山根委員、佐々木委員、松本委員、渡辺委員
（計 14 名）
委員欠席者：なし
事　務　局：建設部長、建設部次長、都市整備課長ほか４名
傍　聴　者：１名（報道関係者）

■会議結果

１　委嘱状交付
横田市長から委員 14 名へ委嘱状を交付した。

２　開会

３　市長挨拶

４　会長・副会長選任
会長は愛甲委員、副会長は竹田委員に決定した。

５　諮問
横田市長から愛甲会長へ「千歳市緑の基本計画の改定について」の諮問書を交付した。

６　議事・その他
⑴　「千歳市緑の基本計画」の改定について
⑵　「千歳市緑の基本計画」の概要について
⑶　千歳市の緑の現況について
⑷　現行計画の評価について
⑸　専門部会について
⑹　今後のスケジュールについて

・審議会の議事録は、発言者名を伏せ、発言内容を要約した会議概要を会長及び副会長に確認していただいた上で、市のホームページで公開することとなった。
・上記の６つの議事について、事務局から説明済みとすることに決定した。

７　閉会

■会議における意見及び質疑応答等

1　議事(1)～(4)について　（関連した内容となるため、事務局からまとめて説明）

【委 員 A】
　現行計画では、千歳駅東口の緑化について触れられていないが、考え方を聞きたい。

【事 務 局】
　現行計画においては、千歳駅東口の緑化について特筆していないが、歩道やロータリーには植樹を行っており、一定程度の緑の量は確保してきていると認識しているため、今ある緑については保全していきたいと考えている。

【会　　長】
　グリーンインフラについて、千歳市で考えているイメージや、実際に行っている整備事業はあるのか。

【事 務 局】
　現時点で、グリーンインフラとして行っている事業等はないが、今後、千歳川周辺の治水対策において、グリーンインフラとしてどんなことができるか、検討していきたいと考えている。

【会　　長】
　グリーンインフラは、生態系の力を使って洪水対策等のインフラを整備していくという考え方であり、他の自治体では、花壇、遊水地、緑地等を整備し、雨水の浸透などを行っている事例がある。グリーンインフラはこれから期待される分野なので、本審議会でも話し合っていきたい。

【委 員 B】
　現行計画は 20 年間の計画期間となっているが、これから改定する計画も同じく 20 年間とするのか。

【事 務 局】
　審議会で決めていきたいが、緑に関しては時間をかけて取り組んでいく必要があるため、20 年間を目安とし、必要に応じて見直すこととしたいと考えている。

【委 員 C】
　千歳湖の自然は素晴らしいと思っており、周辺に大型企業が立地することから、企業と連携して何かできたらいいと考えている。

【事 務 局】
　現時点で具体案は持っていないが、今の自然環境に配慮しながら、企業との連携により、展開できることがあればいいと考えている。

【会　　長】
　千歳市で策定している上位計画や都市マスタープラン等の個別計画について、直近の策定時期や緑の基本計画との時間的な関係性は。

【事 務 局】
　上位計画の第７期総合計画は令和３年に策定し、個別計画については、令和３年に農業振興計画、景観計画、令和４年に第３期都市計画マスタープラン、立地適正化計画を策定している。時間軸としては、総合計画に続いて各個別計画も見直していくイメージとなり、緑の基本計画も他の計画と整合性を図りながら改定していくことになる。

【会　　長】
　生物多様性地域戦略については策定しているのか。

【事 務 局】
　策定していない。

２　議事⑸及び⑹について（関連した内容となるため、事務局からまとめて説明）
　質疑応答なし。

以上